

**製品名: KAP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe83709**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.38mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	Calculated MW: 89 kDa ; Observed MW: 110 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KAP1
別名	E3 SUMO-protein ligase TRIM28; KRAB-associated protein 1; KAP-1; KRAB-interacting protein 1; KRIP-1; Nuclear corepressor KAP-1; KAP1; TF1B; RNF96; TIF1B; TRIM28;;TIF1 beta
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q13263
免疫原	ヒト TIF1 ベータ由来の合成ペプチド

**背景**

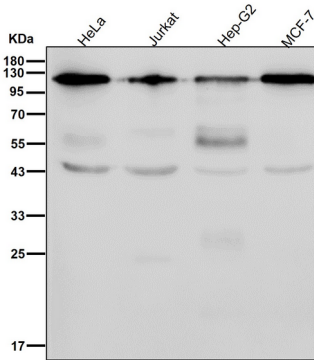
KRAB ドメイン含有ジンクフィンガータンパク質 (KRAB-ZFP) の核コリプレッサー。ヌクレオソームリモデリング・脱アセチル化 (NuRD) 複合体のサブユニットである CHD3 と、ヒストン H3 の「Lys-9」 (H3K9me) を特異的にメチル化する SETDB1 を KRAB 標的遺伝子のプロモーター領域にリクルートすることで、遺伝子サイレンシングを誘導する。H3K9me の増加、ヒストン H3 の「Lys-9」および「Lys-14」のアセチル化 (それぞれ H3K9ac および H3K14ac) の減少、および HP1 タンパク質の配置を調整することで、遺伝子発現をサイレンシングし、転写抑制を強化する。

## 研究分野

-

## 画像データ

すべてのレーンでは、抗体を 1:5K に希釈して室温で 1 時間使用します。



HeLa 細胞溶解物中の KAP1 発現のウェスタン ブロット分析。

